

政策シート

(政策名) 海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進

(予算費目名) 産業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

◇政策の概要

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図る。
①海外進出支援…東南アジアを中心とした成長国への進出・現地拡大をサポート
②海外販路開拓支援…市内で高度な「ものづくり」を継続する中小企業の海外販路開拓をサポート

◇関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	36,102	30,316				
決算	29,063					
人件費(A)	19,600	19,600				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	48,663	49,916				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見本市出展企業の成約件数	件	目標	25	30	35	40	45	50
		実績	10					
海外展開企業数 ※県の調査によるもの	社	目標	165	131	132	133	134	135
		実績	130					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図った。
①海外進出支援 — 東南アジアを中心とした成長国への進出・現地拡大をサポート
②海外販路開拓支援 — 市内で高度な「ものづくり」を継続する中小企業の海外販路開拓をサポート

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
------	-------

新興国経済の停滞や円安基調等の影響から、新規進出案件が減少しており、設定した政策指標のうち現地での法人設立数が目標未達となった。一方、大手メーカーにおける海外生産・現地調達は依然進行しており、人口減少社会の到来による国内需要の縮小が懸念される中で、市内企業の経営の維持・拡大に向けては海外需要の獲得は重要であるため、海外ビジネスサポートデスクや海外政府機関との連携などこれまでに構築した支援体制を活用し、海外展開支援を実施した。海外見本市出展による海外販路開拓支援においては、成約に至るまでに一定の時間を要することから、現時点での成約実績は限定的である。目標値は下回ったが、出展企業各社については、一定の成果があったものと認識している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	海外ビジネス展開支援事業	○	○	○		49,916	30,316	2.8			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						49,916	30,316	2.8			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 海外ビジネス展開支援事業

◇事業目的・事業対象

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、地域経済の活性化を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.6】

- ①海外ビジネスサポートデスク運営事業…海外ビジネス展開に関する総合的な相談窓口を市内及び現地に開設し、各種支援を実施。市内では企業訪問を行い、積極的に企業の課題解決を図る。
- ②海外販路開拓支援事業…世界有数の国際見本市に共同出展ブースを確保し、市内中小企業に出展機会を提供することで、海外販路開拓を支援。また、海外販路開拓手法についてセミナーを開催。＜出展見本市：COMPAMED(ドイツ・健康医療)、Photonics West(アメリカ・光電子)＞
- ③経済交流推進事業…経済交流に関する覚書等を締結しているタイ・ベトナム・インドネシア各政府機関と連携した経済交流事業(海外ビジネスセミナー等)を実施。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	36,102	30,316				
	決算	29,063					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	29,063	30,316				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		19,600	19,600				
人工	正規	2.8	2.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用	○ 8.1,8.3	⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

本事業は、活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、地域経済の持続的な発展を図ることを目的としている。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
見本市出展企業の成約件数(件)					I-1(2)ア	I-1(2)ア	6
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	25	30	35	40	45	50
実績値	35	10					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
海外展開企業数(社)※県の調査によるもの					I-1(2)ア	I-1(2)ア	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	160	165	131	132	133	134	135
実績値	135	130					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.6】

- ①海外ビジネスサポートデスク運営事業…海外ビジネス展開に関する総合的な相談窓口を市内及び現地に開設し、各種支援を実施。市内では企業訪問を行い、積極的に企業の課題解決を図る。
- ②海外販路開拓支援事業…世界有数の国際見本市に共同出展ブースを確保し、市内中小企業に出展機会を提供することで、海外販路開拓を支援。＜出展見本市:COMPAMED(ドイツ・健康医療)、Photonics West(アメリカ・光電子)、NAMM Show(アメリカ・楽器)＞
- ③ 経済交流推進事業…経済交流に関する覚書等を締結しているタイ・ベトナム・インドネシア政府機関と連携した各国との経済交流事業(投資環境セミナー等)などを実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

新興国経済の停滞や円安基調等の影響から、新規進出案件が減少しており、設定した政策指標のうち現地での法人設立数が目標未達となった。

一方、大手メーカーにおける海外生産・現地調達は依然進行しており、人口減少社会の到来による国内需要の縮小が懸念される中で、市内企業の経営の維持・拡大に向けては海外需要の獲得は重要であるため、海外ビジネスサポートデスクや海外政府機関との連携などこれまでに構築した支援体制を活用し、海外展開支援を実施した。

海外見本市出展による海外販路開拓支援においては、成約に至るまでに一定の時間を要することから、現時点での成約実績は限定的である。目標値を下回ったが、出展企業各社については、一定の成果があったものと認識している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 協働・助成 事業費 拡大 人工 縮小

海外ビジネスサポートデスクにおいて企業訪問を実施し、海外展開における市内中小企業の現状把握に努めるとともに、産業支援機関や地域金融機関等で構成する「浜松市海外経済交流推進協議会」において、各国の経済情勢や市内中小企業の海外展開状況について情報交換を行い、企業にとって有効な支援策について協議し事業を実施した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部廃止 / 収集・分析 事業費 縮小 人工 現状

・海外販路開拓支援事業について、NAMM Showへの出展企業の自立化に伴い、浜松市ブースとしての共同出展支援を終了する。他の見本市においては、継続出展企業に対して、一層の自立化を促していく。
・市内中小企業にとって有望な海外展開先に関する情報を継続的に収集するとともに、海外ビジネスサポートデスクにおいて積極的に企業訪問を行い、企業が感じている課題を掘り起こし、企業のニーズに即した適切なサポートを実施していく。

補助シート (事業名) 海外ビジネス展開支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
6	<ul style="list-style-type: none"> ○国際見本市出展 ・医療機器(部品・技術) ・光電子機器 ・楽器関連 ○海外ビジネスサポートデスク運営 ○経済交流事業実施 (タイ、ベトナム、インドネシア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際見本市出展 ・医療機器(部品・技術) ・光電子機器 ○海外ビジネスサポートデスク運営 ○経済交流事業実施 (タイ、ベトナム、インドネシア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際見本市出展 ・医療機器(部品・技術) ・光電子機器 ○海外ビジネスサポートデスク運営 ○経済交流事業実施 (タイ、ベトナム、インドネシア) 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際見本市出展 ・医療機器(部品・技術) ・光電子機器 ○海外ビジネスサポートデスク運営 ○経済交流事業実施 (タイ、ベトナム、インドネシア)